



あしたのかわら版

一般社団法人
人工内耳友の会 [ACITA] 福岡支部

第26号
2020年1月20日(金)
一般社団法人
人工内耳友の会ACITA
福岡支部
eメール acita.fukuoka@gmail.com
発行責任者 樋口弘行
FAX 092-691-9341



年頭ご挨拶 支部長 樋口弘行

新年明けましておめでとうございます。

令和最初の新年を皆さま
如何お迎えでしょうか。

穏やかな大気にも恵まれ、
すがすがしい新年を迎え
られたことと思います。

昨年は平成から令和へ
と元号が変わり新天皇の
即位の礼の行事が行われ
るなど日本中が祝賀ムード
に包まれました。又、

ラグビーワールドカップ
では日本チームが強豪の
アイルランド、スコット
ランドチームを降すなど
初めてベスト八に進む大
活躍。にわかラグビーファ
ンで日本中が沸きました。

(私もその一人ですが)
反面自然災害による混乱
も生じましたし政治・経
済・国際面でも多くの課
題を残したままになって
います。今年も東京オリ
ンピック・パラリンピック
が開催されますが日本
勢の大活躍で多くの金メ

ダルを獲得し、華やかに
且つ成功裏に終わってほ
しいものです。

福岡支部の一年

年間行事としては特に
目新しいものはありませ
んが九月の「人工内耳の
日」は予算と準備の関係
で天神にてチラシを配布
しました。

十月には恒例のバスツアー
で鯛生金山と大刀洗平和
記念館を訪れ参加者三十
二名が楽しいひとときを
過ごしました。一緒に参
加された人工内耳装用を
検討されている方も会員
から色々な情報を得て、

「参加して良かった」と
言っておられました。

(三面の記事参照)
一月に新年会を実施して
二〇一九年度の行事はほ
ぼ終了です。

「安否確認ネット」構築
災害時に於ける支部会
員の安否を確認する「緊
急時会員安否確認ネット

ワーク」(略称・安否確
認ネット)を構築しまし
た。地球温暖化に起因
する異常気象による自然
災害や地震に毎年見舞わ
れるようになった日本列
島は何時どこで大きな被
害に見舞われるか分から
ない、まさに災害列島と
なっています。災害が発
生したとき真っ先に気に
なるのがそこに住む人、
特に友の会会員の安否で
す。東日本震災をはじめ
大きな災害が毎年襲って
いるのに会員の安否を確
認する術がありません。
そこでせめて福岡支部の
会員だけでもいち早く安
否を確認したい思いでネッ
トワークを構築しました。

構築後すぐに身に危険を
感じる大雨に襲われまし
たがこのネットワークを
使って全員の安全が速や
かに確認できました。

このネットワーク構築・
運用にはほとんど費用は
必要としません。

助成要望活動について
福岡支部の大きな目的
のひとつが人工内耳に関
する助成要望活動です。
十年来要望活動をしてお
りませんがなかなか広がり
が見えませんでした。

二年前、福岡県が人工内
耳への助成を進めるよう
県下の市町村へ指導がな
されました。しかし市町
村を尋ねてみるとほとん
ど認識されていなかった
り全く計画されていない
町も多くあります。そん
ななか、そこに住む会員
と一緒に何度も要望活動
を重ねた結果徐々に助成
を始める市・町が増えて
きました。(五面参照)

今年も引き続き支部の重
点活動として要望活動を
進めて参ります。

二〇二〇年度も例年と
変わらない内容になると
思いますが会員が参加し
やすい、参加して良かつ
たと思われるようなもの
にしたいと思えます。

皆さまのご協力を宜しく
お願いいたします。

懸念はやはり酷暑・豪雨・
台風による自然災害▼近年、
気候変動による影響が増
大し、日本でも線状降水
帯による豪雨が毎年発生。
温室効果ガス削減対策は
遅々として進まぬ。将来
の世代のために効果的な
取組が急務である。(金)

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

馬耳東風

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、

▼去年五月、時代
は平成から令和に。
生前退位による新
天皇即位で奉祝一
色▼しかし、去年
も、豪雨や台風に
よる「災害」が頻発。九
月の台風一五号では、政
府は初動対応を行わず、
内閣改造を決行。一〇月
の台風一九号では、一國
の首相は、人命救助より
もラグビーW杯での日本
の勝利に大はしゃぎ。被
災地を無視して都合のい
いこと、楽しいことに目
を向けるばかり。それで
いいのか▼ワンチームが
流行語大賞となったラグ
ビーW杯ではにわかファ
ンが急増。日本チームの
ベスト八進出など大会は
大成功。今年の東京オリ
ンピック・パラリンピック
が楽しみではあるが、



年頭ご挨拶

一般社団法人

人工内耳友の会ACCITTA

会長 井修一

金 福岡支部の皆様、新年明けましておめでとございます。

令和となって初めてのお正月を迎え、皆様気持ちも新たに過ごしの事と思ひます。

昨年を振り返れば、地球温暖化の影響か、気象変動が著しく、台風は大変型化し局地的な豪雨も頻繁におこり、全国各地に甚大な被害をもたらした、会員の中には被災された方もおられました。今年には自然災害の無い平和な一年となつて欲しいと切望しています。

その平和の象徴であるオリンピック、パラリンピックがいよいよ東京を中心に開催されますが、特にパラリンピックは障害の理解につながる良い機会なると思ひます。是非盛り上げてほしいものです。

しかしながら、聴覚障害については見えない障害で、さらにバリアも見えないため、なかなか理解されない現実があります。国の動きとしては、加齢による難聴が認知症にも影響することが分かってきたためか、自民党では昨年四月に難聴対策推進議員連盟を発足させ難聴問題について取り組みを開始しています。

人工内耳の装用者も年々増えており、諸問題について検討・改善されることを期待するところです。

末筆になりましたが、福岡支部の皆様をはじめ、全国の会員の皆様にとつて、この一年がより良い平和な年となりますよう、また、健康とご多幸を心より祈念し、年頭ご挨拶とさせていただきます。



九州ブロック長 (兼 熊本支部長)

林田誠子

明けましておめでとございます。本年も宜しくお願ひします。

人工内耳体外機について、早くに手術を受けた者としてその歩みを書かせていただきます。

私は平成六年五月二十五日 宮崎医科大学で手術を受けました六月八日「音入れ」。早いもので二十六年になります。

★初めての体外機は箱型MSPでした。

★初めてのアップグレード、買い替え(更新)の

案内が平成六年九月に届きました。試聴しましたら音楽がきれいに聞き取れました。MSPを下取りに出して購入するかたちでアップグレードで、マイクروفオンは共通でしたのでそのまま使用する形で、箱型の体外機を平成七年十一月、二十七万円で購入しました。

★二回目アップグレードは八年後、耳かけ型「エスプリ」。下取り無しで四十万円で購入。箱型の長いコードからの解放は嬉しかったのですが当時は補聴器用の空気亜鉛電池しか有りませんでしたので、補聴器用の空気亜鉛電池を二個使用。補聴器用の空気亜鉛電池では力不足で、使い始めて短時間でプツン、プツンと切れる音切れが発生。エスプリが使いづらい状況が発生しました。

★その後東芝から「人工内耳用・高出力空気亜鉛電池」の製造販売がなされました。東芝製を使うようになりましてから音切れは無くなり、一日

安心して使えるようになり、電池は三日程度、使用できました。人工内耳装用者はまだ少なかったこともあり、一パック単価は高額でした。

★その後ドイツのファルタ社VARTAIIパワーワン)製「高出力人工内耳用空気亜鉛電池」が導入されました。東芝製より少し安く、東芝製と同じように安心して使用できました。それでも、補聴器用の空気電池より高額です。(その後、東芝は生産中止になりました)

★人工内耳用・高出力空気亜鉛電池ひとつについても、安心して使えるようになるのに、当時、大変な苦労があった事を知っていたら！と思ひます。「人工内耳用高出力空気亜鉛電池」は一般のお店や補聴器店でも販売されています。人工内耳メーカーから購入するか、補聴器店にお願いして、メーカー名と「高出力人工内耳用空気亜鉛電池」と、製品名を指定して取り寄せていただき

購入しています。広く販売されている凡用品の電池ではない事をご理解いただけたらと思います。

「日本国内ではファルタ社IIパワーワン(独)、レイオパーク社(米)ゼニパワー社(中国)が入手可成です」

★補装具である補聴器には消費税はつきませんが、医療機器である人工内耳は消費税の負担が必要ですので、一〇〇万円をこえるだろうな！と予想していましたが、改めて手術後の人工内耳体外機の維持や新型機への買い替え(更新)につきましても、補装具である補聴器には助成があるのに、人工内耳体外機買い替え(更新)につきましても、自己負担になっていくことを知っていたら、負担が重なることを広く知っていただき、安心して装着して行ける支援体制、理解の輪が広がります事を心から願っております。

二〇一九年度 人工内耳の「報告」 山本美裕紀

昨年の九月二十一日に福岡市天神にて人工内耳の啓発活動を行いました。人工内耳を知らない方に知ってもらうには？と考えた結果、街頭アンケート調査とチラシ配りを行うことになりました。

チラシの配布は、最初は配布する皆さんの表情も硬く、なかなか手に取ってもらえませんでした。一枚一枚手に取って頂けるたびに気持が前を向いて、次第に笑顔で「よろしくお願いします」と声をかけながら配布する事ができ、多くの方の手に届けることができました。

アンケート調査は、「人工内耳知っていますか？」と書いたボードを作成し、「知っている」「知らない」「どちらかにシールを貼っていただきました。結果は、七十八名の方に回答いただき、「知っている」二十二名(二十八

%)、「知らない」五十六名(七十二%)でした。調査前から知らない方が多いとは想定はしていましたが、今回大事にしたのはアンケートの結果はもちろんですが、シールを貼ってくれる方と話しをすることです。

知っている方にはどこで知ったのかを尋ねました。知らない方には人工内耳を簡単に説明して、お困りの方が身近におられたら教えてあげてください!と伝えました。するとチラシを手に取って「分かりました!」と快く言っ

て下さる方が多くとても嬉しかったです。そして会話をしていると「あなたも人工内耳をしているの?全然分かっていなかった!」と数人の方から声をかけていただきました。この活動が聴こえに困っている方に繋がるといいなあと、積極的に声をかけいくことができました。

「知っている」と答えた方は学生さんが多かったです。学校で人工内耳している人がいたり、大学で習った等…。そして、驚いたことは、若い方は

こちらから行かなくてもシール貼らせてください!と来てくれました。何だか、とても嬉しく、未来は明るい気がしました。道路使用許可の都合で二時間程の活動でしたが、とても楽しかったです!人工内耳を全く知らない方への周知をするには有意義な活動ができたと思います。



チラシ配布・説明をする会員

「知っている」と答えた方は学生さんが多かったです。学校で人工内耳している人がいたり、大学で習った等…。そして、驚いたことは、若い方は

こちらから行かなくてもシール貼らせてください!と来てくれました。何だか、とても嬉しく、未来は明るい気がしました。道路使用許可の都合で二時間程の活動でしたが、とても楽しかったです!人工内耳を全く知らない方への周知をするには有意義な活動ができたと思います。

立ち止まって協力してくれた皆さん、ボールペンやメモ帳を提供してくださったメーカーさん、当日応援に駆けつけていただいたメーカーの方、病院のリハビリの先生、ご協力ありがとうございました!

〇〇二年サッカーワールドカップでカメルーン代表の合宿地となり話題となった村です。一〇〇年前出現した東洋一の金山の坑道は地底博物館になっています。坑道の中は十度で寒いくらい、リラックス効果のマイナスイオンをたっぷり浴びてきました。また、砂金取り体験では当時と同じ方法での砂金採り。砂の中にキラリと光る砂金を採れた方もいたようです。隣接する道の駅で見頃のダリアの写真を撮ったり、お土産を買ったり、わさびの薄緑色とゆずの薄い黄色でカメルーン国旗に見立てたカメルーンソフトクリームを食べたり各々過ごしながら普段お会いする機会の少ない会員の方とのお話しもはずみ

現在の日本の平和の大切さを改めて実感しました。今回のバスツアーには人工内耳の装用を検討されている方や、既に装用しているものの未入会の方の参加があり会員相互の親睦、情報交換に加えて、装用者への会の活動案内もでき大変有意義なものになりました。

日帰りバスツアー 辻公美子

秋晴れの令和元年十月二十二日(祝)福岡支部恒例のバスツアーは鯛生(たいお)金山と大刀洗平和記念館へ参加者三十二名で行きました。鯛生金山は大分県日田二

次の大刀洗平和記念館まではバスで一時間程。かつて東洋一の飛行場があった場所に入って直ぐに目に入った零戦の実機や他の航空機の模型などを含め充実した展示でした。

「会報」百二十七号に掲載したものを一部修正し、再掲したものです。



鯛生金山にて



九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科学分野 教授
九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 診療科長
中川 尚志

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

耳鼻咽喉科医師の学会で最も大きな組織は一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会(以下、日耳鼻)です。私は二〇一六年より同学会の理事をしています。理事になると複数の委員会を担当します。そのひとつとして、福祉医療・乳幼児委員会を担当しています。

乳幼児委員会を通して、日本ろうあ連盟の方々とつながりができました。二〇一七年九月に東京、品川の日耳鼻事務局で行っていた委員会を訪問してくださったのが始まりです。その後、担当理事として手話言語を広める知事の会に二回出席し、二回目には日耳鼻の立場から「共生の社会」について講演をさせて頂きました。この会は超党派の議員が参加されており、

自民党の「難聴対策議連」が昨年春より立ち上がり、初年度である二〇二〇年度に小児難聴を対象として対策に前年比十三倍を超える概算予算の申請がなされました。これに呼応して、福岡県の新生児聴覚事業の関係者の集まりである協議会が立ち上がり、協議会の会長として福岡のシステムを二〇二〇年度に構築したいと考えています。

日本ろうあ連盟が主体となった「ろう乳幼児支援対策チーム」の日耳鼻代表の委員として加わっています。手話は大切ですが、音声言語をみにつけることができると軽度難聴児にまで手話を主体にして教育し、読み書きが

できない児が一部地域で起きている。逆に手話などの視覚的手段がはいらないと言語獲得が困難な人工内耳装用児への手話禁止など、極端なポリシーをもったところもあります。その中でも

さんにあわせた中庸が最も大切と考えています。日本ろうあ連盟の提言にはその考え方を取り入れたいと考えています。

二〇二二年度は「難聴対策議連」で成人難聴者を対象とした様々な提案がなされています。このようにまとまった形で難聴について政府が取り組むことは初めてであり、画期的なことです。これらの政策大きな柱のひとつは人工内耳であります。何らかの形で皆さんの活動に寄与できればと考えています。福岡を離れて、活動する機会が増えてきています。しかし、私の生まれ育ちは福岡です。早く全国の動きをつかみ、自分の地元であります福岡においていかなれないように努力をするつもりです。

皆様にあわせて、幸多い年でありますよう祈念いたします。



久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 助教(耳科学)
三橋 亮太

皆さま、あけましておめでとうございます。

久留米大学で人工内耳を含めた中内耳疾患を担当している三橋亮太です。皆さま、めまい症状でお悩みの方はおられますでしょうか。当院では現在『外リンパ瘻(かいりんぱろう)』という内耳の膜に穴が開くことで難聴やめまいを生じる疾患に対して積極的に取り組んでおります。この疾患は鼻をかんだり、耳抜きをしたり、綿棒や鼓膜を突いたりの外傷を契機に生じることが多いとされています。近年人工内耳の手術後にも生じ得ることが報告されています。この疾患では①トイシで踏ん張って腹圧が上がるとめまいがする②靴ひもを結ぶなどの前屈位でめまいが増悪する。③頭を低くして寝るとめまいを強く感じるなどの特徴的なめまい症状を示します。当科ではこの疾患に対して

も昨年にご紹介させていただいたとおり、経外耳道的内視鏡下中耳手術(Transcanal endoscopic ear surgery・以下TEES)を積極的に取り組んでおり、七から八割の患者さんが手術後めまい症状の改善を認めています。現在当院では正凹窓窩アプローチという負担の少ない術式を用いております。この術式は術後のめまいが少なく、低音の聴力が残せる可能性があると、大きなメリットがあるとされています。しかし、残念なことにそれ以前に手術を行った患者様で手術後しばらくして生じためまい症状に苦しんでおられる方がおられました。その当時は蝸牛開窓法といって内耳の骨に穴をあけて電極を入れるという方法で手術を行っており、この術式の際に残念ながら内耳の膜に損傷を生じていたと思われる。この患者さんにはTEESで内耳の電極挿入部の再開鎖を行ったところめまい症状の改善を認めました。このようなめまい症状にお心当たりのある方は執刀医の先生にご相談してみたいかがでしょうか？皆様が充実した一年を過ごされることを祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

産業医科大学病院
(北九州市)
装用手術始まる

この度産業医科大学病院(北九州市八幡西区)で人工内耳装用手術が開始されるという情報を得ました。担当教授とコンタクトをとっておりますが今現在まだお会いできておりません。福岡県内で四番目の施設となりの北九州・京築地区の患者さんには便利になる朗報だと思っております。詳細が分かりましたら別途お知らせいたします。



福岡大学医学部 耳鼻咽喉科学教室
主任教授 坂田俊文
さかた としふみ

昼夜で寒暖差の大きい日々ですが、皆様どのような新年を迎えられたでしょうか。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、当科では難聴の患者さんを対象に専門外来を続けています。患者さんの七割は加齢による難聴なのですが、診療してきて気になるのは、難聴には困っていないと口にされる患者さんの多さです。もうすぐ中等度難聴に届きそうな方でも、

不自由はないとおっしゃる場合があります。年齢と共に徐々に進行するたため気づきにくいのかもしれません。日常生活について何うと、ひとり暮らしであったり、同居している人と会話が少ない、友人と話す機会や外出の機会が少ないなど、人の言葉を聞かずに済む環境で生活されていることに

気づきます。日本は先進国の中で欧米に比べ、補聴器の普及率がとても低いことが知られており、このような生活背景が関係しているかもしれません。本邦では二〇二五年まで高齢者の割合が増え続けると予測されており、今後の補聴器普及率がどのように推移するのかが気になるところです。

一方、耳の病気で突然難聴に襲われた患者さんは、高度難聴でなくとも不自由さに加え、難聴に対する恐怖心を抱えており、難聴がこれ以上進行したらどうしよう、全く聞こえなくなったらどうしようといった点を気にされます。このような患者さんには補聴器装用をお勧めし、残った聞こえを生かせることに気づいてもらいます。それでも失聴を心配されるときは、人工内耳の存在をご紹介します。

励ますようにしています。また、進行性の難聴を抱えた患者さんが来院された場合には、将来のシミュレーションとして最初から人工内耳に言及しています。このように、現時点ではまだ適応ではない患者さんに人工内耳の説明をするとき、私の中ではACIITAやその会員の方々にイメージしており、そのことが説明に説得力を与えてくれると考えています。今後も人工内耳装用にまつわる良い点、課題などを装用者の方々から学んでいきたいと思えます。

福岡支部として一〇年ほど前から人工内耳に対する助成要望を会員がいる市・町を中心に進めて参りました。活動を初めてからいち早く八女市が電池代の助成を開始しましたがその後広がりがあ

りませんでした。よその県(特に熊本、大分)では着々と進んでいるので三年ほど前より福岡支部の重点施策として進めてきました。結果少しずつですが成果が出てきました。内容的には満足するに足りない市・町があります。その中でも福岡県の上毛(こうげ)町では私たちの要求に応えうる内容の助成が始まりました。つまり体外器、電池・充電機、充電器、そして何より両耳装用の場合でもそれぞれに適用するということもです。昨年十一月から始まった福岡市は内容としては物足りなさを感じますが県内装用者のおよそ四割が恩恵を受けることと両耳にも適用されるというところで一歩前進と受け止めたと思います。今後も引き続き会員の皆さまと一緒に要望活動を進めたいと思えます。

助成要望活動について

福岡支部管内 助成実施状況 (2019年12月現在)

市町名	電池代	体外器
福岡県八女市	電池2,500円/月(自己負担1割)(2010年2月~)	---
福岡県筑後市	電池3万円、充電機3万円(耐用年数1年)、充電器3万円(耐用年数3年)(2016年3月~)	上限100万円 耐用年数5年 課税世帯の本人負担額37,200円
福岡県みやま市	---	50万円 耐用年数5年 市町村国税の所得割の額が40万円未満 単独事業として給付
福岡県久留米市	電池2,500円/月(自己負担1割)、充電機3万円(耐用年数1年) 自己負担1割(非課税世帯は無し)	---
福岡県小郡市	電池30,000円/年、充電機30,000円/3年	100万円 耐用年数5年
福岡県福津市	---	100万円 耐用年数5年
福岡県大牟田市	電池2,500円/月、充電機30,000円/年 両耳装用の場合それぞれに適用	---
福岡県藤塚町	電池24,000円/年、充電機24,000円/3年	50万円 耐用年数5年
福岡県上毛町	電池2,500円/月、充電機30,000円/年 充電器30,000円/3年 両耳装用の場合それぞれに適用	100万円 耐用年数5年 両耳装用の場合それぞれに適用
福岡県福岡市	---	更新 30万円 両耳装用の場合それぞれに適用 修理 1万円 両耳装用の場合それぞれに適用
佐賀県唐津市	空気電池2,500円/月、充電機・充電器30,000円(年1回) 課税状況により自己負担あり	---
佐賀県佐賀市	空気電池2,500円/月、充電機・充電器30,000円(年1回)	---
佐賀県神埼市	2,500円/月 充電機24,000円/2年 充電器25,000円/5年	20万円 耐用年数5年

市民公開講座

難聴者の生活改善にむけた人工内耳の可能性

入場
無料

人工内耳は、高度難聴の方が聴こえを取り戻すための治療のひとつです。
補聴器でも聴きとりにくい方は、是非ご参加ください。

プログラム

- ・講演 九州大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 松本 希 先生
「難聴を放置すると認知症になるってホントですか？」
- ・人工内耳装用者体験発表 ・質疑応答

日時

2020年 **2月29日** 土
13:30～16:00 (受付開始 13:00)

定員 80名 (要事前申込み)

※ 情報保障：パソコン要約筆記をご用意いたします。

人工内耳の対象になるのは次の方々です。

- ・両側高度感音難聴の方
(補聴器を装用しても効果が見られない方)
 - ・高度加齢性難聴の方
 - ・幼小児先天性高度難聴の方
 - ・病気・事故などにより失聴した方
- ※ 人工内耳医療は健康保険の対象になっていません。

ご家族様のみのご参加、また難聴の方以外のご参加も歓迎いたします。

会場 アクロス福岡「大会議室」



©ACROS Fukuoka

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号
アクロス福岡へお越しの際は公共の交通機関をご利用ください。
(JR博多駅から天神までは、地下鉄空丸線で5分)

- アクセス**
- ・西武 福岡天神駅から徒歩10分
 - ・地下鉄空丸線 天神駅から徒歩5分 (16番出口直結)
 - ・地下鉄七隈線 天神南駅から徒歩7分 (6番出口)

問合せ・申込み先

株式会社日本コクレア
FAX: 06-6376-8015 Email: jpsales@cochlear.com

申込み方法

裏面の「参加申込み用紙」に、参加される方全員の氏名(ふりがな)、ご連絡先を明記の上、FAXまたはEmailにてお申込みください。 お送り頂いた個人情報、個人情報保護ならびに法令遵守の観点から厳重に管理いたします。

主催：株式会社日本コクレア
後援：九州大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科
一般社団法人 人工内耳友の会ACITA福岡支部

Hear now And always



福岡支部は「市民公開講座」を後援します。
支部として人工内耳関連書籍の展示・販売等を行う予定です。
皆さんのお知り合いで難聴で困っている方がいらっしゃいましたら是非声をかけてください。
申込みはチラシの「問合せ・申込み先」までどうぞ!

会員の動き

現在の福岡支部会員数は

正会員	三十二名
賛助会員	六名
合計	三十八名

となっております。

これはACITTA支部では大きなほうに属します。ここに至るには病院の先生方、特にリハビリの先生の大きな力添えによる効果が大です。

正会員を病院別にみると

九州大学	二十名
福岡大学	四名
久留米大学	三名
その他	五名

となっており、今後の福岡大学、久留米大学の増加と新しく産業医科大学からの加入も期待したいところです。

首都圏地区の一〇〇名近くには及ばないもの、なんとか五十名になればと思います。



お知らせ

既にご案内のとおり今月二十五日(土)に福岡市中央区の東映ホテル「ピストロアトリ」に於いて支部恒例の新年会を行います。

美味しい料理と幹事さんが考えに考え抜いた楽しい内容を一緒に楽しみましょう。

(申込み受付は終了)

編集後記

穏やかな天気の新年を迎え今年は無事かと思っただ矢先、日産元会長のゴーン氏がスパイ映画並みの国外逃亡！そして会見。まさに HE HAS GONE.

一方中東ではアメリカとイランが喧嘩を始めた。大喧嘩にエスカレートしないように！東京オリンピック期間中だけでも何事もなく日本の金メダル獲得を応援したい。

(でも雷力は大丈夫かな?)
なんだかこの一年も荒れそうな予感が...



コクレアは人工聴覚器の世界的なリーダーです

コクレアは、難聴の治療方法として人工内耳や骨導聴力活用型インプラントシステム^{*}を提供する医療機器メーカーです。

— Hear now. And always — 私たちは、難聴者の皆さまが生涯にわたりより良い聴こえを得られるよう、全力を尽くしてまいります。

*一般的な名称は「骨伝達型聴覚器」です



難聴.jp
聴こえのひろば

難聴・人工内耳についての情報は



子どもの聴こえ
サポートウェブ

株式会社日本コクレア

〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル
Tel: 03-3817-0241 Fax: 03-3817-0245
www.cochlear.com/jp

難聴の治療については、医療従事者に相談ください。聞こえや結果は使用者によって異なりますので、かかりつけの専門医が処方結果に影響を及ぼす可能性のある要因についてアドバイスします。使用については必ず取扱説明書をお読みください。国によっては販売されていない製品があります。お近くのコクレアの担当者に連絡して製品情報を確認してください。

Cochlear, "Hear now. And always.", 和戸印のロゴは、Cochlear Limitedの商標または登録商標です。 © Cochlear Limited 2019

Hear now. And always

